平成２８年度　伊那市学校人権同和教育実践計画概要

学校名　　伊那市立伊那小学校

テーマ　　一人ひとりの児童が尊重される豊かな心情と開かれた学級づくりを基盤として、偏見や差別に気づき、これを許さない実践力を身につける。

	学年	人権課題（※1）	扱う資料等	取組内容（箇条書で簡潔に）
学年ごとの取り組み予定	1	①人権一般	・自作資料	・ふわふわ言葉とちくちく言葉って？いつもの生活を振り返り、その言葉について考える。（コミュニケーション） ・誰とでも仲良く遊び、助け合って生活する。（生命尊重）
	2	①人権一般	・自作資料	・友だちの様子からその良さに気付いたり、認め合ったりする仲間意識を育てる。（生命尊重、コミュニケーション）
	3	①人権一般	・自作資料	・友だちやクラスで一つのことをやることを通して、共感的な意識を高める。（コミュニケーション、自尊感情）
	4	①人権一般	・自作資料	・友だちのよさや痛みに気づき、相手のことを大事にする気持ちを育てる。（生命尊重、コミュニケーション）
	5	①人権一般 ⑥同和問題	・自作資料	・身近な学校生活や地域社会の中にある差別や偏見に気づく。（生命尊重、自尊感情）
	6	⑥同和問題	・あけぼの ・自作資料	・同和問題についてあけぼのなどの資料から学び、差別を許さない態度を育てる。
人権同和教育推進上の悩み			多様な家庭環境、いろいろな価値観の違いの中で生きている子どもたちの心に響く資料作り。（総合のなかでの学びとともに）	

								①講師決定理由・人権課題 ②工夫改善点 ③取組内容・新たな取組等
児童	研修講演会	テーマ/タイトル	命の大切さ，よりよく生きる（仮）					①児童がお話を聞かせていただく中で、友だちの大切さや、いのちの尊厳など自分の生き方の指針になるような講演会としたい。
		講師名・所属等	検討中					
	アンケート等		QUｱﾝｹｰﾄ	実施学年	４～６年	実施回数	２回	②児童会が主体となって行っている縦割り班の活動内容を増やすなど、さらに充実させていきたい。
			その他	学年・学級の実態に応じて実施				
	児童会の取組		③なかよし週間（６月）やなかよし月間（11月）での交流					
保護者	研修講演会	テーマ/タイトル	命の大切さ，よりよく生きる（仮）					①人権同和教育参観日に保護者と児童参加の講演会を行う。内容について、親子で共通の話題にしてもらうことをねらいとする。
		講師名・所属等	検討中（児童と同じ）					
	家庭への発信・連携		③参観日の授業で、人権同和教育に関する授業の実施。日頃より学級通信、連絡帳などで学級の中の人間関係や、個々の児童の様子などをお伝えしながら、保護者と共に子どもたちの健やかな心の成長を共有し合う。					
職員	研修講演会	テーマ/タイトル	人間関係作り　学級作り（仮）					①人権意識の高め方や、具体的な指導方法を演習等を通して学ぶ。
		講師名・所属等	検討中					
	校内組織の取組		③校外研修や、講演会への参加を呼びかける。					
○地域組織、他学校、福祉施設との交流・連携 ○地域への発信等			②子どもの意識を大切にしながら、学級・学年の活動からの発展によるものにしたい。 ③養護学校在籍児童との居住地校交流や老人ホームなどでの交流					

【※１】人権課題について（　下記から選んで記入してください。記入例「　④障害者　」　　）
①人権一般（生命尊重、自尊感情、コミュニケーション能力等）　②女性（DV・ｾｸﾊﾗ含む）男女平等　③子ども（いじめ、こどもの権利等）　④高齢者　⑤障害者　⑥同和問題　⑦アイヌの人々　⑧外国人　⑨インターネット、携帯電話等による人権侵害　⑩HIV感染者、ハンセン病患者　⑪刑を終えて出所した人　⑫犯罪被害者　⑬北朝鮮当局による拉致被害者問題　⑭性的指向に関わる問題　⑮満州開拓団・中国帰国者　⑯東日本大震災